

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

問一 傍線部 a～j のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 空白部 (1) (2) (3) (4) (5) に入る最も適当な言葉を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ① しかも ② むしろ ③ また ④ だが ⑤ つまり

問三 二重傍線部 ①・② の意味として、最も適当なものをそれぞれ①～⑤の中から一つ選びなさい。

(アンデシュ・ハンセン『スマホ脳』による 一部改変)

① 余談

- ① 不思議な話
- ② よけいな話
- ③ 大事な話
- ④ つくった話
- ⑤ 聞いた話

② 些末

- ① 重要でないこと
- ② 大きなこと
- ③ 美しいこと
- ④ 古いこと
- ⑤ 悪いこと

問四 次の文章は、文中のどこに入るのか、①～⑤の中から一つ選びなさい。

ある実験では、モニターに次々と文を表示して、それを150人のティーンエイジャーに見せた。その中にはマルチタスクに慣れた若者も含まれていた。モニターに表示されたのは、きわめて正しい文（「朝食にチーズサンドを食べた」など）もあれば、めちゃくちゃな文（「朝食に靴ひもを一皿食べた」など）もある。どれが正しいかを答える課題だ。そのくらいちよろいと思うかもしれないが、迅速に答えなければいけない。文はわずか2秒しか表示されないのだ。加えて、スクリーンには気を散らすような情報が表示されていて、それも無視した上でだ。クリアするには、作業記憶がしっかり機能していなければいけない。

問五 筆者が「脳は働が悪いほど自分をほめる。」という小見出しを付けた部分は、どこからどこまでか。最初と最後の五文字を抜き出さない。ただし「、」や「。」は除く。

問六 あなたはスマホのマルチタスクの人たちにアドバイスを送ろうと思っている。筆者が述べているマルチタスクの代償を踏まえてアドバイスを六十字以内で書きなさい。